

R I 第 2820 地区

# 水海道ロータリークラブ



CELEBRATE  
ROTARY

100 Years

2004-05 年度 国際ロータリー会長  
グレン E. エステス・シニア

NO. 2 0 1 0

例会 2004 年 10 月 13 日(水)

鈴木・大串年度テーマ

『原点に戻ろう！』

そしてさらなる飛躍を！！』

10 月の会長ポイントメッセージ

ロータリーの原点は職業奉仕から

10 月は職業奉仕月間・米山月間です

## 本日のプログラム

点 鐘

ロータリーソング・四つのテスト

ビジター紹介

出席報告

SAA 報告

諸 報 告

幹事報告

会長挨拶

米山月間 米山奨学生卓話

蔡 亦竹君

次回 10 月 20 日(水) 予告

職業奉仕委員会 月間にちなんで



永井康彦ガバナーと倉沢修一ガバナー補佐

2004 ~ 2005 年度

会 長 鈴 木

豊

幹 事 大 串

卓

例 会 場 ・ 例 会 日

事 務 所

〒303-0023 茨城県水海道市宝町 2790

〒303-0023 茨城県水海道市宝町 3386

常陽銀行水海道支店内 3F

釜久ビル 3F

毎週 水曜日 12:30 ~ 13:30

0297-22-1251

0297-30-0875

Fax0297-30-0876

E-mail [mitsu-rc@lapis.plala.or.jp](mailto:mitsu-rc@lapis.plala.or.jp)

URL <http://kinuyou.com/rc/>

本例会でのおもな事項

\* 会長挨拶

\* ガバナー公式訪問

\* 入会式

永井靖彦ガバナー

ビジター紹介

国際ロータリー第2820地区ガバナー 永井靖彦殿(水戸東RC)

国際ロータリー第2820地区会計長 打越芳男殿(水戸東RC)

国際ロータリー第2820地区ロータリーの友委員 木村 利殿(水戸東RC)

第8分区ガバナー補佐 倉沢修市殿 (竜ヶ崎RC)

第8分区ガバナー補佐セクレタリー 渡利千里殿(竜ヶ崎RC)

新入会員 穂戸田好範会員

誕生祝 おめでとうございます。



会員

9月誕生 根本恒夫会員

10月誕生 松崎隆詞会員 武藤康之会員 穂戸田好範会員

配偶者

鈴木(邦)会員 松坂会員

バナーの交換



入会式 穂戸田好範会員 (職業分類は食品販売、委員会は国際奉仕委員会です。)

この度、北村さんに大変お骨折りを頂きましてご推薦を頂き、また皆様方のご理解の下本日よりロータリーのお仲間に加えさせていただける事になりました。本当に有難うございます。



自分の事で恐縮ですが、私も本日44歳の誕生日を迎えることができました。父親が約30年前43歳で他界しておりますので、父の亡くなった歳を乗り越えて行くということは、私にとってもいろいろな思いがありまして、少々エネルギーのいる歳でございました。そのような中で、本日ガバナー訪問という水海道ロータリーにとって大変重要な日に、こうして新入会員としてご挨拶できますこと厚く御礼申し上げます。有難うございます。何もわからない若輩者でございますが、これからロータリーのことを勉強して行く中で、皆様方のご

指導ご鞭撻を頂戴しながら、頑張るって努力していきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

### 幹事報告 (大串 卓幹事)

週報受理 竜ヶ崎RC

例会変更通知受理 竜ヶ崎RC 10月12日(火) 午前11時 成田空港(職場訪問)

ゴルフ大会について…… 日時:2004年11月4日(木)

場所:龍ヶ崎CC

参加費:5000円

集合:スタートの30分前

### 会長挨拶 (鈴木 豊会長)



皆さん、こんにちは。そして、ガバナーの永井靖彦様、ガバナー補佐の倉沢修一様、セクレタリーの渡利千里様、地区会計長の打越芳男様、ロータリーの友委員の木村 利様、ようこそいらっしゃいました。会員(100%実質出席例会)全員にて歓迎申し上げます。私にとって今日という日が最高の喜びに浸っている今一番幸せ者と感じております。この機会を作ってくれました永井ガバナー始め、今日ここに出席して頂いた全員の前でお礼を述べさせていただきます。本当に有難うございました。

5人の皆様には、早朝よりまた遠いところお越しいただき誠に有難うございました。今日は、クラブにとりまして大変重要な公式訪問の日となりました。全員一同お茶の世界ではありませんが、一期一会の精神の元ガバナーご一行様を迎えるべき準備は進めてまいりましたが、行き届かない点がございましたら、ロータリーの精神で?とは言いません、どしどしご指摘をお願い申し上げます。とはいえ、ガバナーにお逢いするまでは大変緊張と不安の連続でした。私なりに今日までのガバナーを推察させていただきますと、スマートでセンスがよく、たまウイットにとんだ現代的なガバナーだと、私の見方に間違いはありませんでした。しかし、その「和らぎ」の中に10時よりクラブ事務所で行われた懇談会では、懇切丁寧にそして適切なご指導を頂き大変勉強になりました。このご指導を再認識して、今年残された10ヶ月をクラブ運営及び活動に進めてまいり、次年度に引き継いで行きたいと思っております。最後に、ガバナーにはこれから長時間に亘りご指導を頂くわけですが、どうぞ宜しくお願いいたします。またガバナー補佐も同様に宜しくお願いいたします。

### 永井靖彦ガバナー公式訪問卓話 「ロータリーの歴史と運動 その発展」

今年度、グレンE. エステス・シニアRI会長は100年にわたるロータリーの歴史が親睦と奉仕にあり、この





理念を根底に置くことによって、ロータリーの可能性に対する認識を高め、新しい挑戦事項に取り組み、奉仕の第2世紀目に入る「ロータリーを祝おう」と提言しております。ロータリーが奉仕するという一世紀にわたる成長と拡大、そして過去の成長の自己満足ではなく、新たな危機感を持って原点に立ち返り、第1歩を踏み出す、そのことを祝おうと述べております。2004 - 2005年度に創立100周年を迎えるにあたり、ロータリーがどのような変遷をたどってきたのか骨格のところだけを検証してみたいと思います。

ポール・ハリスという一人の弁護士が99年前の1905年に仕事上の知己を三人呼び集めて第一回の会合をしました。彼らは互いに集まり、取引をしあい、友情と信頼関係を築けるようなクラブを発足することを決意しました。第三回目の会合は、ポール・ハリス、シルベスター・シール、ハリラグルス等15名が出席しました。この会合での最初の議題は、この集まりの名称をどうするか、ということだった。提案には事欠かなかったがなかなかまとまらず、最後に「ロータリークラブ」はどうかかとポール・ハリスが提案し、この名前が全会一致で可決された。この会合では理事会が選任され、ポール・ハリスはシルベスター・シールをシカゴロータリークラブの初代会長に推薦した。ポール・ハリスはこの会の最初の定款、細則を創案し、1906年に採択された。この中に書かれているロータリーの綱領は二つだけである

1. 本クラブ会員の事業場の利益の増大
2. 通常社交クラブに付随する親睦およびその他の特に必要と思われる事項の推薦

しかしクラブがより高度な利他的な目標を目指すよう希望する会員もいた。1906年5月にシカゴロータリークラブに入会したドナルド・カーターであります。彼は「利己的なことのみで動いている組織は必ず潰れます。もしもロータリークラブが将来発展してこうと望むならば、その存在を正当化する必要があります」と言ったのです。ちょうど、シカゴクラブの物質的相互扶助が世間からの非難も浴びていた矢先であり、ポール・ハリス自身も、方針の転換を考えていた時期だったので、カーターの意見を取り入れることになった。ドナルド・カーターは1907年にクラブ細則の改定案を提出し、そして第三の綱領を創案しました。

3. シカゴ市の最大の利益を推進し、シカゴ市民としての誇りと忠誠心を市民の間に広める。

これがロータリー史上における大転換期となった。「社会奉仕の父」として知られるようになったドナルド・カーターを牽引力として、社会奉仕の理想を受け入れた。1907年にポール・ハリスがシカゴクラブの会長になったとき、クラブの方針を転換して会員増強、拡大、地域社会に対する奉仕を重点項目にしました。その手始めとしてやった事業が公衆便所の設置運動です。まもなく公衆便所を建て、恵まれない子供達を助け、貧民街の住民に食べ物の詰まったバスケットを届けるようになった。シカゴロータリークラブは3年間で会員数を200名に増やした。1908年に2番目のロータリークラブが誕生した。サンフランシスコクラブである。1908年のときに、アーサー・F・シエルドンがシカゴロータリークラブに入会します。彼はミシガン大学の経済学部で販売学、特にサービス学を専攻し、その考え方を実業家に教えるために1902年にビジネススクールを開設しておりました。サービス学(奉仕哲学)はまさしく彼のオリジナルな発想であり、それを表す言葉が、今私達が使っている He most who serves です。もっとも、彼が1910年に最初にロータリーで発表したときには、He profits most who serves his fellows best と、his fellows という言葉が余分に入っています。

各都市でロータリークラブの結成が拡大し、全米のクラブは全国大会を開催し、そこで連合会の目標や、規範について討議し、1910年8月15日に全米ロータリークラブ連合会がシカゴにおいて結成された。まもなくロータリーは世界各地に広まり、クラブが次々と結成されていった。志を同じくするクラブが各地に生まれ、国境を越えて、今では世界166カ国(2004年6月現在)の地域に広がり、クラブ数は31,603、会員総数 1,211,723人(2004年6月30日RI公式発表)に達しています。この組織が地球の隅々まで拡大

するにつれてロータリーは世界に目を開いて幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在も多方面にわたって多大な貢献をしています。

99年前にロータリーと呼ばれる河が生まれ、その源泉はひそやかであり、小さな泉の湧き水やわずかな雪解け水に始まります。このわずかな水の流れが野山を下るうち、触れるものすべてに新たな生命を与える。そのうち小川がいくつも合流して一つの川になり、より確かで、力強い流れとなる。ロータリーの河は広く深く流れる。誰もこの流れがどこまで続くかは知らないが、この水を眺める人々は皆、その源泉を誇ることが出来ます。それは創立者ポール・ハリスであります。1947年1月27日、長年の闘病生活の後、衰弱した78歳のポール・ハリスは彼の愛したシカゴ南部の故郷カムリー・バンクで安らかに息を引き取った。そのとき、彼には妻、弟、多くの友人、そして世界6000クラブのロータリアンが残された。

ひるがえって1910年結成された全米ロータリークラブ連合会の設立と第一期の役員が選出され、ポール・ハリスが会長に指名された。そして連合会の運営を担当する事務装置用にチェスリーR.ペリーが推薦され、以来32年間勤めた。ちなみに、当時のシカゴクラブ会員は、親睦と事業の発展を望んで入会した人たちが殆どでした。その中でポール・ハリスやシエルドンが突然、奉仕理念や拡大を唱え始めたので、シカゴクラブは大荒れに荒れます。ハリー・ラグルスを中心とした親睦派は会員同士の親睦と事業の発展こそがクラブ・ライフの全てだと主張しますし、ポール・ハリスやアーサー・シエルドンなどの奉仕派も一歩も引こうとはしません。シカゴクラブの例会は、両派の論争の場と化し、最終的にはポール・ハリスは任期半ばで会長を辞し、シエルドンも情報拡大委員長を更迭されるという事態にまで発展します。これを憂慮したチェスリーR.ペリーが奉仕理念の提唱とか拡大は、この連合会で行い、クラブでは親睦を保つという役割を分担することで、この騒動の幕を閉じることが出来た。1910年全米ロータリークラブ連合会の晩餐会で、シカゴロータリークラブのアーサー・フレデリック・シエルドンがスピーチを行った。彼はこのスピーチの途中で「人は他人に利益をもたらすことこそが、正しい経営学であるということを理解するようになります。最もよく奉仕するものが最も多く報いられるということを理解するようになります」と語りかけた。1911年のミネアポリスロータリークラブの初代会長ベンジャミン・フランクリン・コリンズが提唱した“Service Not self”の思想があります。彼はロータリーの奉仕はself即ち自分をNot即ち否定して、犠牲にしてこの宇宙を支配する神の秩序体系のもとに帰依すること、これ即ち、ロータリーのService奉仕であると解いたのです。これはまさに中世キリスト教神学の思想以外の何物でもありません。優れた宗教的な標語であります。

1912年9月、ロータリーが国際組織へと成長したのを受けて「全米」という言葉が除かれた。連合会事務総長であったチェスリーR.ペリーはポール・ハリスと40年間にわたりロータリーの形成期に絡み合っていた。1960年2月21日にチェスリーR.ペリーが亡くなったとき、彼が入会時にたった一つだったロータリークラブは、彼が精魂を傾けて育てた組織は115カ国、10400クラブという規模に成長していた。現在120万人のロータリアンのほぼ全員が創立者の名前を知っております。しかしチェスリーR.ペリーの名前を聞いたことのある者、あるいはロータリーへの彼の貢献について聞いたことのある者は少ない。チェスリーR.ペリーがいなければ、今日のロータリーは無かったかもしれない。ポールは「もし私のことを国際ロータリーの設計者と呼んでいいとしたら、チェスリーR.ペリーも同じように国際ロータリーの建設者と呼んで間違いないでしょう」記しているのである。

1915 - 1916年度RI会長アレンD・アルバートは、ロータリークラブ国際連合会の定款と細則を起草する委員会の委員長にアーチ・クランフを任命した。国際ロータリークラブ連合会の新しい定款で最も根本的な変更は、ロータリーを地区と呼ばれる10の地理的単位に分けたことにある。これによって連合会の綱領を推進し、クラブを新設し、既存クラブの利益を増進し、それらを国際連合会理事会の一般的な監督の下で行うため「地区ガバナー」という新しい肩書きが創出された。99年度の今日も、地区ガバナーは国際ロータリー理事会と地域のロータリアンとの間のリンクとして機能している。

定款と細則は、連合会とクラブが守る規則と手続きを定めたが「ロータリーとは何か?」「ロータリアンは何

を信じているのか？」という基本的な問いかけに答えるものではなかった。しかし、ロータリーは繰り返し組織自体の定義を微調整し、1951年にその最も重大な最後の綱領が下された。ロータリーには「有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成する」というただ一つの綱領があると決定されたのがこの時であった。この崇高な目的を固く前面に打ち出した後、ロータリアンが綱領を成就する4分野が説明された。第1 奉仕の機会として…… 第2 事業および専門職務の…… 第3 ロータリアンすべてが…… 第4 奉仕の理想に結ばれた……

ロータリーは一人の孤独な男が三人の友人に提案したアイディアから、1915年にはすでに統一された定款、細則、綱領、倫理規定、今日のいわゆる四大奉仕部門の三つである、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕という骨組みが出来ていた。創立後、わずか10年でロータリーの河は明確に、より広い地域を潤い始めていた。

現在のロータリー活動の特徴は、職業奉仕に関する活動が衰退し、弱者に涙するボランティア活動、すなわち社会奉仕や国際奉仕の活動が中心になってきています。1962年にはWCSが始まり、1978年から3Hプログラムが、1985年からポリオプラスが始まり、RI主導型の人道主義に基づく国際ボランティアが中心となって現在に至っています。

### 出席報告 (角田雅宣委員長)

会員総数	出席者数	欠席者数	賜暇	メーク
50名	50名	0名	1名	0名

出席率 100.00%

### ニコニコボックス (青木正弘委員長)

永井靖彦ガバナーよりニコニコボックスにいれて頂きました。

誕生祝御礼 会員 根本・武藤・松崎・穂戸田 各会員

配偶者 鈴木(邦)・石塚(利)・松坂・増田 各会員

本日より宜しくお願い致します。 穂戸田会員

永井ガバナー公式訪問ご苦勞様です。宜しくご指導お願い致します。 松坂・武藤・角田・大塚・小島・染谷(正)・秋田・松村・熊谷・大串・長塚・登坂・青木(清)・田上・中川・島田・古谷・五木田・横山・瀬戸・石塚(克)・隅屋・山崎(進) 各会員

永井ガバナー他4名の皆様早朝よりご苦勞様です。今日一日どうぞご指導のほどを宜しく願います。

鈴木(豊)会員

ガバナーようこそ、宜しくご指導下さい。穂戸田さんを宜しくお願い致します。会長にほめられました。

北村(仁)会員

穂戸田好範君入会おめでとう。また永井ガバナーようこそ。宜しくご指導下さい。ちなみに穂戸田会員の奥さんは娘です。 皆葉会員

バッジを頂きました。穂戸田君を宜しく。 染谷(秀)会員

鈴木会長、大串幹事ががんばれ！ 海老原会員

本日も出席できました。 山野井会員

例会欠席しました。 染谷(昭)・斉藤・福田・石塚(利)・増田 各会員

ガバナー本日はご指導宜しく願います。本日は弁当の数ピタリ賞でした。 青木(正)会員

入金計 ¥154,000 累計 ¥855,000

会報委員会 委員長 齋藤広巳 副委員長 大塚令



# 公式訪問スナップ







3時のティータイムはお茶とお饅頭(白)でした。



### 御 礼

10月6日に行われましたガバナー公式訪問におきまして、100%実質出席例会を計画させていただきましたが、関係各位そして会員50名全員の協力を頂き、達成することができました。熱き友情を感じているのであります。誠に有難うございました。

会長 鈴木 豊

